

がっこうひょうか

きょうりょく

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました

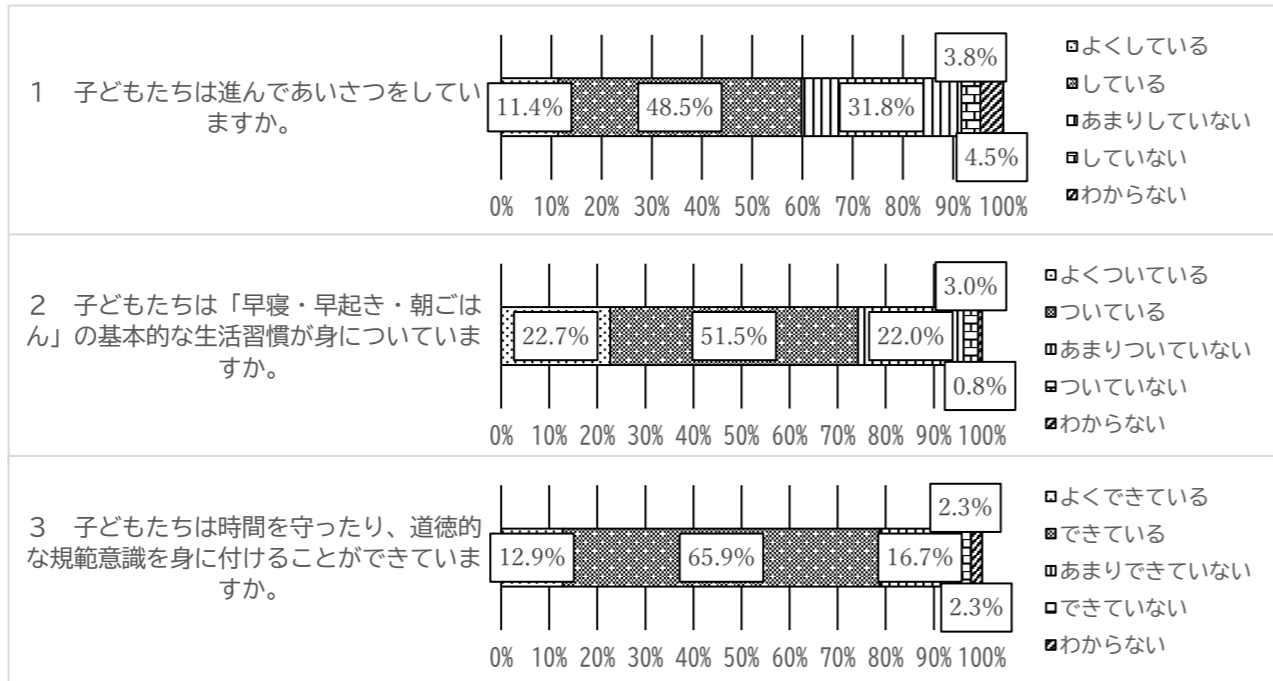
1月16日(木)に文書及びメールでご協力をお願いいたしました「末広小学校教育活動に関するアンケート」ですが、この度結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。今年度のアンケートも昨年度同様、学校目標に合わせた項目となっています。多くの方にご協力を頂きまして本当にありがとうございました。また、この結果を踏まえまして、次年度の教育活動に反映させていただきたいと思っております。

1～3は、子どもたちの生活に関わる設問です。生活習慣や規範意識については7割から8割の肯定的な回答となっていま

す。しかしながら、どの項目も若干昨年度よりポイントが減少しています。あいさつの花を咲かそう運動やあいさつ月間などの活動を一層進めるとともに

教室での声掛けなど具体的な取り組みを進めていく必要があると考えています。

4は今回新たな項目として設定した支援学校との連携に関わる設問、5～8は日常の学習の工夫や学習環境などにかかわる設問です。6の過ごしやすい学習環境については前年度より改善いたしました。主体的・対話的な学習や意欲を引き出す学習、ICTの活用についての設問については肯定的な回答が5ポイントから8ポイントの減ということで、今後、よりよい授業の在り方について、またそれを見ていただく機会について考えていく必要があると考えております。校内研究などをもとに授業改善を進め、子どもたちの学習の様子をお見せする機会(学習参観など)に主体的、対話的で深い学びの様子をお見せできればと思っております。4の支援学校との交流については6割余りの方から肯定的な回答をいただき、それ以外はほとんどが「わからない」の回答と



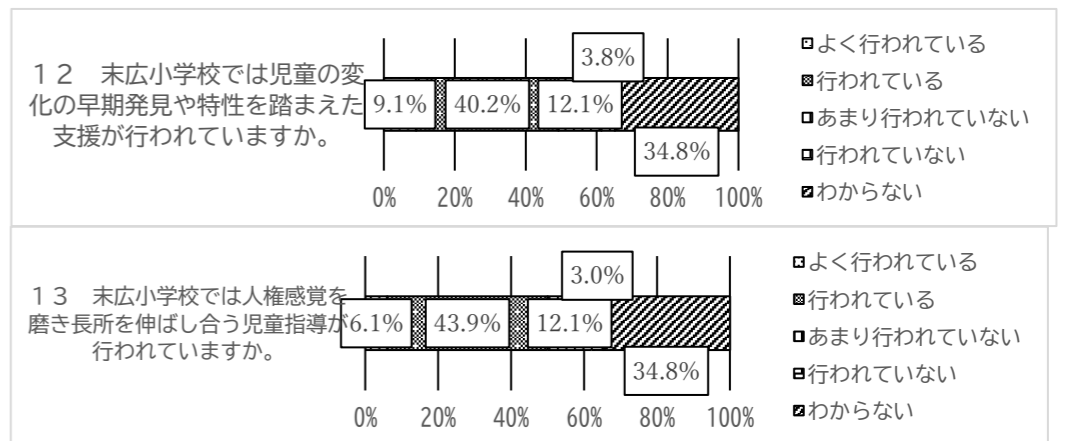
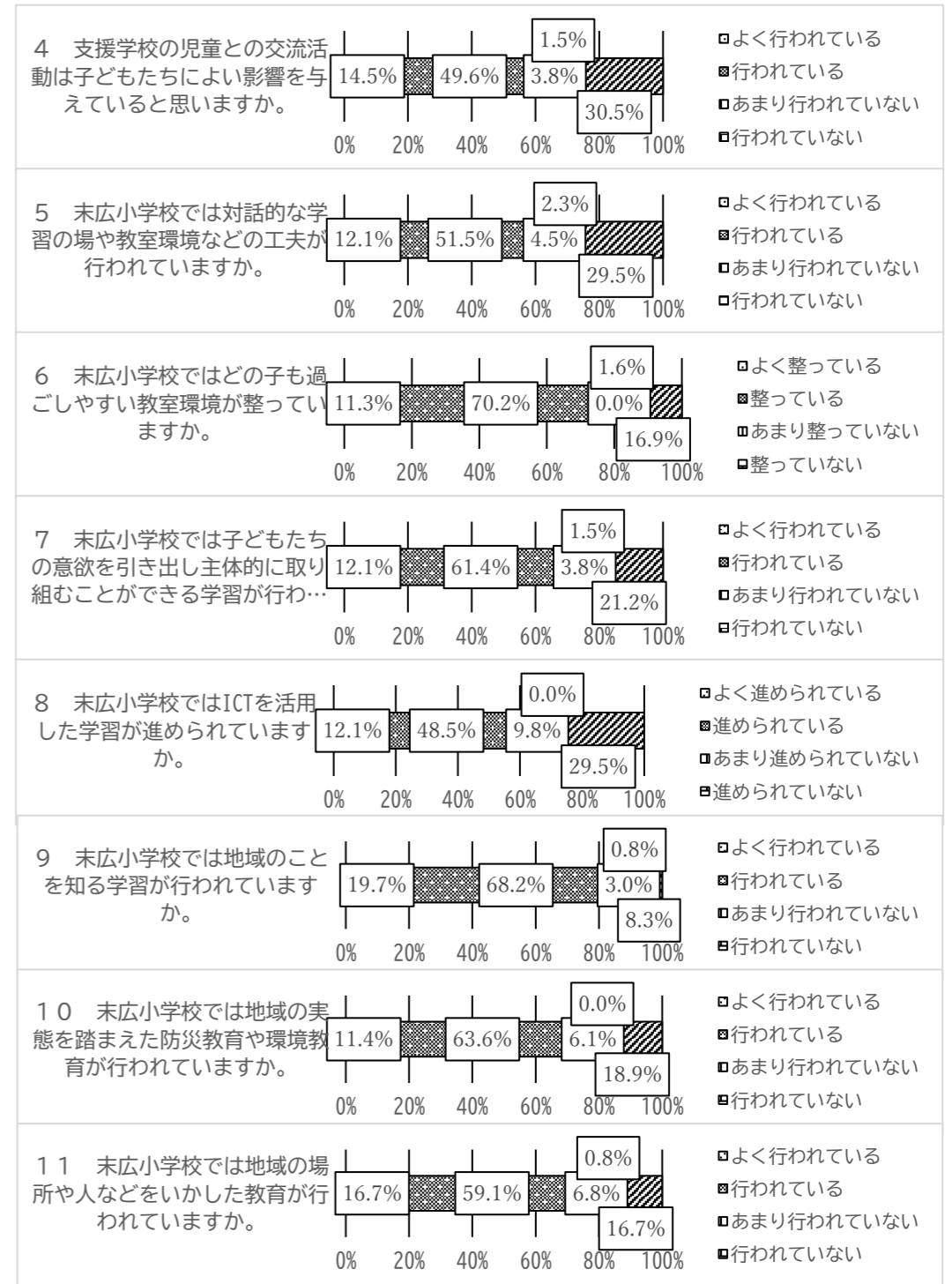
なっています。様々な機会を通して交流活動についてお知らせしていればと考えております。

9～11は、地域のことを知る学習、地域の実態を踏まえた防災・環境教育、地域の場所や人を生かした学習に関係した設問になっています。地域のことを知る学習については、昨年度に比べて5.8ポイントアップし、総合的な学習の時間の中で「はだのっ子アワード」に取り組んでいることが一定の評価を受けていると思われま

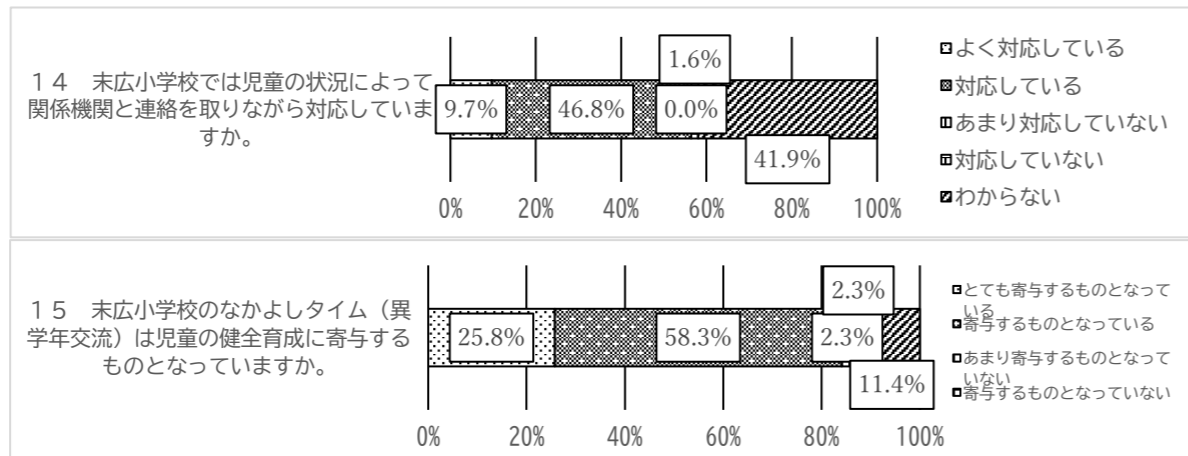
す。また、防災・環境教育については10.2ポイントの増、地域の場所や人を生かした学習については昨年より8.7ポイント増となっております。総合的な学習や生活科などの活動で多くのボランティアの方々に参加していただいたこと

によるものと考えています。次年度についても引き続き、地域に積極的にかかわるような取り組みを進めて参りたいと思っております。

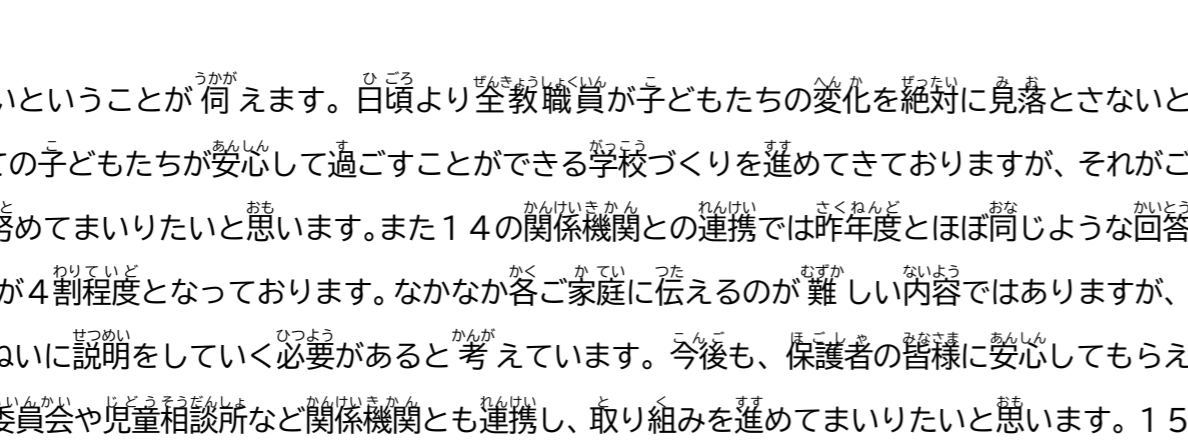
12～14は、児童指導にかかわる設問です。児童の変化についての早期発見や特性を踏まえた支援、人権感覚や関係機関との連携といった内容です。12の児童の変化の早期発見については、昨年度比3.



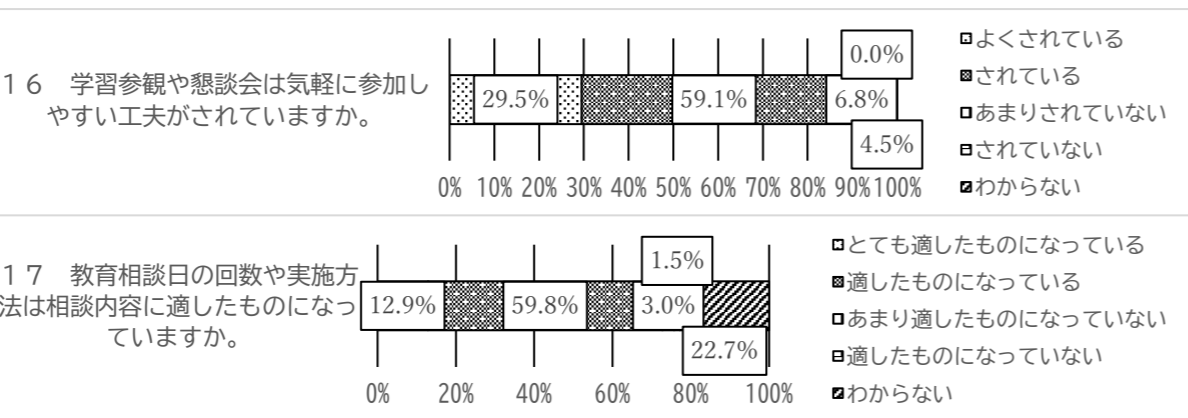
8の減、12の長所の伸ばす児童指導については昨年度比12.5の減となりました。「わからない」の数値が同数程度増加していることから、



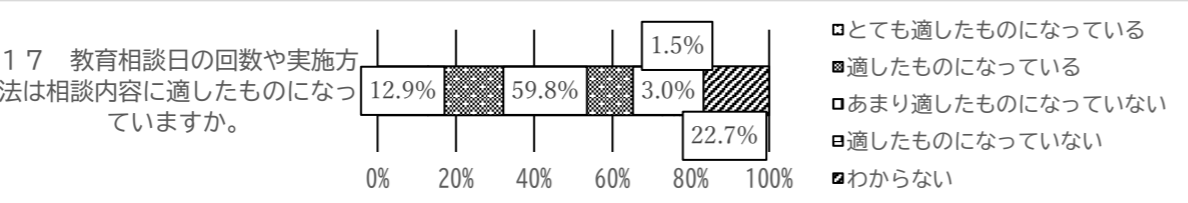
ら、取り組みが各ご家庭に伝わっていないということが伺えます。白頃より全教職員が子どもたちの変化を絶対に見落とさないという意識のもと、すべての子どもたちが安心して過ごすことができる学校づくりを進めてきておりますが、それがご家庭にも伝わるよう努めてまいりたいと思います。また14の関係機関との連携では昨年度とほぼ同じような回答結果で「わからない」が4割程度となっております。なかなか各ご家庭に伝えるのが難しい内容ではありますが、必要に応じて、ていねいに説明をしていく必要があると考えています。今後も、保護者の皆様に安心してもらうよう、秦野市教育委員会や児童相談所など関係機関とも連携し、取り組みを進めてまいりたいと思います。15は新たな設問で「なかよしタイム」に関するものです。「なかよしタイム」は本校独自の異学年交流活動ですが、健全育成に寄与するとの回答が8割を超えており、その成果が各ご家庭にも伝わっていると考えられます。



16、17の設問は学習参観・懇談会や教育相談日にかかわる設問でした。学習参観や懇談会に参加しやすいかということについて

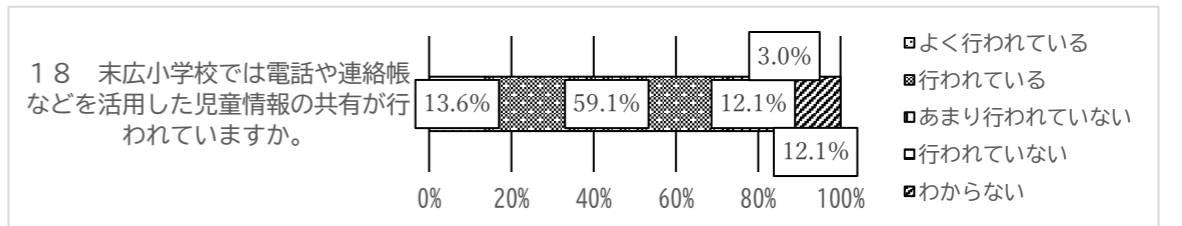


は、どちらもほぼ昨年度と同様の回答をいただきました。今後も、保護者の皆様が参加しやすい学習参観・懇談会の形を探っていきたく思います。また教育相談日ですが、月1回程度実施してまいりました。これにつきましても概ね昨年度と同様の回答をいただきました。教育相談日を活用したことがない方もいらっしゃると思いますので、一概にいいこととも悪いこととも言い切れませんが、いずれにしても、白頃の学校生活の中で何か困り感を抱えたときに、気軽に相談できる学校でありたいと考えております。今後もささいなことでも何か不安や悩み等がございましたら、お気軽にご連絡いただければ幸いです。



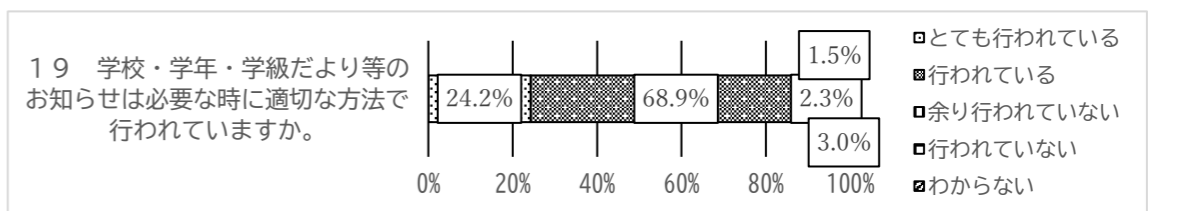
18の設問は、電話や連絡帳などの活用などを通して、子どもたちの情報の共有が図られているかという設問でした。これにつきましては、昨年度とほぼ同様の回答でした。欠席連絡のフォームの活用が定着してきて

おりますが、体調のこ



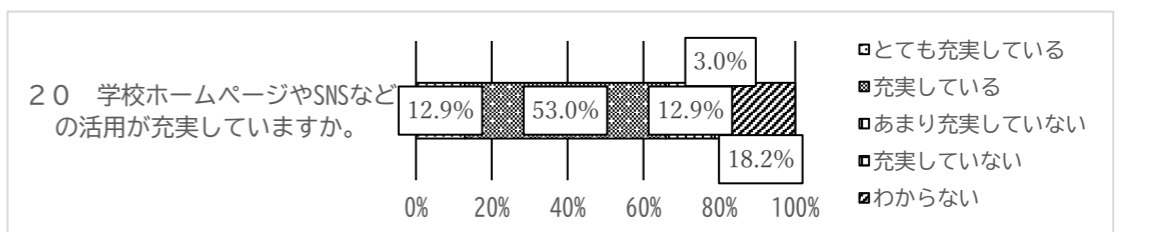
とや人間関係のこと、その他些細なことでも気になることは、随時保護者の方と連絡をとらせていただいているかと思ひます。今後も連絡帳や電話だけでなく様々な方法をうまく活用しながら、必要な情報の共有を図ってまいりたいと思ひます。

19は学校・学年・学級だよりについて設問でした。こちらは昨年度同様90%を



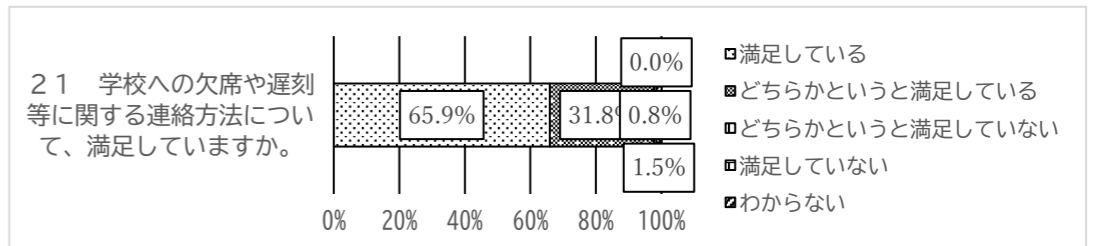
超える肯定的な回答をいただきました。各学年・学級の教員がそれぞれ工夫をこらしながら、学級の様子や学年の様子を伝えようとしている結果であると思ひます。今後も白頃の子どもの様子を中心にいろいろな子どもたちの姿を伝えていくことができると思ひます。各たよりに掲載してほしい情報等があれば遠慮なく、ご連絡いただければと思ひます。

20は、学校ホームページやSNSの活用についてです。こちらにつきましては、肯定的な回答



が昨年度比で10.4ポイントの増となりました。学校のInstagramなども多くの方に見ていただいているようで、ありがたく思ひます。今後もホームページやYoutubeなども含めてその効果的な活用について研究を進め、保護者の皆様の求めている情報などを提供できるよう、研究を進めてまいりたいと思ひます。

21が欠席等の連絡方法についてです。今年度より「tetoru」による連絡方法を導入いたしましたが、多



くの保護者にご理解いただけていると考えられます。しばらくはこの形で行っていくこととなりますが、今後も利便性等を考えながら、よりよい方法を研究していきたく思ひます。

22では、記述にて電話対応についてお伺いいたしました。様々ご意見をいただきました。ここでは、省略させていただきますが、一つひとつ真摯に受け止めさせていただき、よりよい対応となるよう努めてまいりたいと思ひます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。